

# 富士山資料館周辺でみられる蝶

## ミヤマカラスアゲハ (カラスアゲハと見分けの難しいアゲハチョウ)



ミヤマカラスアゲハ (夏型)  
表側に光沢のある青い帯が輝く

### ミヤマカラスアゲハの特徴

成虫は年に2～3回発生する。  
幼虫はキハダを好む。  
夏型と春型の他にも多くの変異が報告されている。

富士山周辺ではよくみられる蝶ですが、ミヤマカラスアゲハとカラスアゲハの区別をできる人はなかなかいません。どこで見分けるのでしょうか？

1. 前翅の裏側の白い帯 翅＝はねのこと
2. 後翅の表側の光沢のある明るい帯
3. 後翅の裏側の黄白色の帯



## ミヤマカラスアゲハ

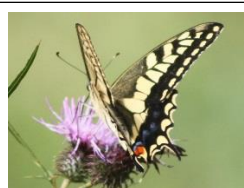
真逆の特徴なら  
**カラスアゲハ**



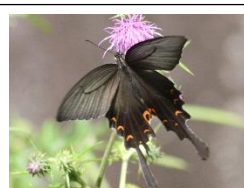
ミヤマカラスアゲハ (春型)



アサギマダラ (9月)



キアゲハ (9月)



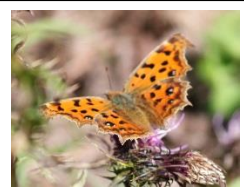
オナガアゲハ (9月)



ウラギンヒヨウモン (9月)



アカタテハ (9月)



キタテハ (10月)



ルリタテハ (10月)



ジャノメチョウ (7月)



コツバメ (4月)



ウラゴマダラシジミ (6月)



ウラギンシジミ (9月)



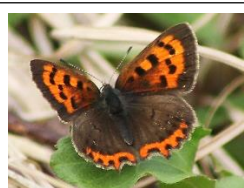
ヤマトシジミ (9月)



キチョウ (7月)



ダイミョウセセリ (8月)



ベニシジミ (9月)



キシマミドリシジミ

カッコ内は撮影月です。実際には春型や夏型があるように年に数回発生することがあります。また、標高によっても発生時期が異なる場合があります。ミドリシジミの仲間は特に標高の高いところでみられます。